



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校
学校だより No.2
文責 芹川博文
4月18日(金)

「あいさつ ・ そうじ ・ 時間」を通して育む自律心
～ 「自ら考え なかまと高め合う」を大切にした学校生活をめざして ～



今年度、隈府小学校では、「あいさつ・そうじ・時間」を、1年を通して取り組んでまいります。「心を開き、場を清め、時を守る」です。これは、簡単なようで難しく、奥の深いものだと考えます。その土台には、「粘り強さ、判断力、相手意識」などが必要となります。

小学1年生も6年後は中学生、9年後は高校生です。一見、目には見えませんが毎日が学びの連続です。授業だけでなく、休み時間や登下校の時間なども、子どもたちは様々な体験を通して感じ、考え、学んでいきます。自ら考える力、なかまと高め合う力を育む中で、当然、悩むことや上手くないことも多々あることでしょう。その中で成長し、自立（自律）に向かってほしいと願います。

ノリノリ ダンスの1年生の姿から思い出した記憶

～ 理由を聞いてくれた当時の先生に感謝 ～

元気いっぱい1年生。歓迎集会では“体操のお兄さん!?” 役の深草先生と、「からだ☆ダンダン」をノリノリで踊ってくれました。

私の遠い記憶では、私が小学校1年の入学式の次の日、私（たち）は先生から叱られました。

朝学校に来て、みんな揃っても先生が朝の職員打ち合わせが何かで教室に来られませんでした。私たちは何をしたらよいか考えました。「先生の机を見ると分かるかもしれない」と集まりました。そして、時間割らしきものを発見。ひらがながやっと読めるか読めないかの私たちは、朝の時間の所に「じしゅう」と書いてあるのを「じゅう」と勘違いして、運動場に出て思い切り遊びました。驚いて出て来られた担任の先生。「こぎゃん1年生は初めち（初めて）」と。しかし、私たちの理由を聞くと、あきれた顔に笑顔が。その時の光景は不思議と焼き付いています。

今振り返ると、理由を聞いてくれた先生に感謝します。そして、これも勘違いかもしれませんが、少しだけ「大人」になったような、誇らしい気持ちさえしました。



「なぜヘルメットをかぶるのか」自ら考えることで行動は変わる

～ 命にかかわる大切な時間 交通安全教室を実施しました ～

「なぜ自転車に乗る時にヘルメットをかぶるのか、並列はいけないのか、自分で考えください。命にかかわることです。皆さんの中で、一人でも交通事故でけがをする人が出てはいけません。」と、交通安全教室で子どもたちに話しました。

私が子どもの頃、同じ地区の上級生が交通事故で亡くなりました。友だちの家に遊びに行った帰り道、自転車で坂を下りて大きな道に出た瞬間、車と衝突したとのことでした。

事故は一瞬です。「自分の命は、自分で守る」を大事にしてほしいと願います。

